

» 交換留学の資格・条件

交換留学については応募時に、次の1.から5.の条件を満たしていることが必要です。

また、交換留学は留学開始時に本学に2学期以上在学（編入生は1学期以上在学）していることが必要です（ドイツ語、英語、フランス語学科は3学期以上）。加えて、交換留学の場合は応募時から留学直前の学期まで、本学に在学していることが求められます。

※大学院生の場合は資格・条件が異なるため、大学院事務室にお問い合わせください。

1. 修得単位数

応募時に次に掲げる各学科所定の単位を修得していること。

2023年度以前入学者

学部	外 国 語			国際教養	経 済		法					
	学科	ドイツ語	英語		フランス語	文化交流	言語文化	経済	経営	国際環境経済	法律	国際関係法
1学期												
2学期		16単位以上*注	16単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ」6単位を含む）**注	16単位以上	16単位以上（外国语科目6単位を含む）	16単位以上（英語科目3単位を含む）	16単位以上					
3学期	32単位以上	32単位以上	32単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ」12単位を含む）	32単位以上	32単位以上（外国语科目12単位を含む）	32単位以上（英語科目6単位を含む）	32単位以上					
4学期	48単位以上	48単位以上	48単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」18単位を含む）	48単位以上	48単位以上（外国语科目18単位を含む）	48単位以上（英語科目8単位を含む）	48単位以上					
5学期	64単位以上	64単位以上	64単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」24単位を含む）	64単位以上	64単位以上（外国语科目24単位、演習2単位を含む）	64単位以上（英語科目10単位を含む）	64単位以上					
6学期	80単位以上	80単位以上	80単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」20単位、「総合フランス語Ⅰ・Ⅱ」2単位、基礎演習部門より8単位、「専門演習」2単位を含む）	80単位以上	80単位以上（外国语科目24単位、演習2単位を含む）	80単位以上（英語科目10単位を含む）	80単位以上					
7学期	96単位以上	96単位以上	96単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」20単位、「総合フランス語Ⅰ・Ⅱ」4単位、基礎演習部門より8単位、「専門演習」4単位を含む）	96単位以上	96単位以上（外国语科目24単位、演習4単位を含む）	96単位以上（英語科目10単位を含む）	96単位以上					
8学期	112単位以上	112単位以上	112単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」24単位、「総合フランス語Ⅰ・Ⅱ」4単位、「演習」4単位を含む）	112単位以上	112単位以上（外国语科目24単位、演習4単位を含む）	112単位以上（英語科目6単位を含む）	112単位以上	112単位以上	112単位以上（外国语科目24単位、演習4単位を含む）	112単位以上	112単位以上	112単位以上

*注：留学開始時期は4学期目以降とする。

**注：留学開始時期は4学期目以降とする。また2学期目終了時に進級要件を満たしていない場合は、書類選考不合格（学内選考日程の都合により、面接選考を通過している場合でも遡って書類選考不合格）とする。

2024年度以降入学者

学部	外 国 語				国際教養	経 済		法			
	学科	ドイツ語	英語	フランス語		言語文化	経済	経営	国際環境経済	法律	国際関係法
1学期											
2学期					16単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ」5単位、基礎演習部門より2単位を含む）**注	16単位以上					
3学期	32単位以上	32単位以上	32単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ」10単位、基礎演習部門より4単位を含む）	32単位以上	32単位以上（外国语科目12単位を含む）	32単位以上					
4学期	48単位以上	48単位以上	48単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」15単位、基礎演習部門より6単位を含む）	48単位以上	48単位以上（外国语科目18単位を含む）	48単位以上					
5学期	64単位以上	64単位以上	64単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」20単位、基礎演習部門より8単位を含む）	64単位以上	64単位以上（外国语科目24単位、演習2単位を含む）	64単位以上					
6学期	80単位以上	80単位以上	80単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」20単位、「総合フランス語Ⅰ・Ⅱ」2単位、基礎演習部門より8単位、「専門演習」2単位を含む）	80単位以上	80単位以上（外国语科目24単位、演習4単位を含む）	80単位以上					
7学期	96単位以上	96単位以上	96単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」20単位、「総合フランス語Ⅰ・Ⅱ」4単位、基礎演習部門より8単位、「専門演習」4単位を含む）	96単位以上	96単位以上（外国语科目24単位、演習4単位を含む）	96単位以上					
8学期	112単位以上	112単位以上	112単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」24単位、「総合フランス語Ⅰ・Ⅱ」4単位、「演習」4単位を含む）	112単位以上	112単位以上（外国语科目24単位、演習4単位を含む）	112単位以上（英語科目6単位を含む）	112単位以上	112単位以上	112単位以上（外国语科目24単位、演習4単位を含む）	112単位以上	112単位以上

*注：留学開始時期は4学期目以降とする。

**注：留学開始時期は4学期目以降とする。また2学期目終了時に進級要件を満たしていない場合は、書類選考不合格（学内選考日程の都合により、面接選考を通過している場合でも遡って書類選考不合格）とする。

2. 評定平均値（GPA）

応募までの獨協大学における修得科目的評定平均値（GPA）が2.30以上であること（小数点以下第3位を四捨五入）。

GPAの計算は次の方法で行います。自分の正確なGPAを把握するため、学期末に通知される成績通知表は必ず全部保管しておきましょう（成績証明書にはFと×の科目は記載されないので、注意してください。×は2023年度まで使用されていたものです）。

教職・司書・司書教諭課程科目ならびに各学科の学則別表のうち、卒業に必要な単位に算入できないと定められている科目は計算から除きます。

※2018年度以前入学者は小数点以下第2位を四捨五入。

$$GPA = \frac{(AA\text{の単位数} \times 4 + A\text{の単位数} \times 3 + B\text{の単位数} \times 2 + C\text{の単位数} \times 1)}{\text{総登録単位数（累計）}}$$

… 「総登録単位数」は、Fと×の科目を含むが、Pの科目は除く。

※交換協定校によっては、別途GPA要件を定めている場合があるので、各協定校の紹介ページで確認してください。

（例）マンチェスター大学3.0以上、ウィスコンシン大学スティーブンス・ポイント校2.75以上等

3. 語学力

P.42~45の「2025年度交換留学募集要項」の「語学力の条件」欄を参照のこと。

4. 留学先の条件

所属する学部学科の授業科目と関連のあるコース、学科への留学であること、かつ所属学部学科が定める以下の条件を満たしていることが必要となります。

学部	外 国 語			国際教養	経 済		法				
学科	ドイツ語	英語	フランス語	交流文化	言語文化	経済	経営	国際環境経済	法律	国際関係法	総合政策
言語圏	制限なし	制限なし	フランス語圏	制限なし	制限なし	制限なし			制限なし		
教授言語	ドイツ語 または 英語	英語	フランス語	制限なし	英語 スペイン語 中国語 韓国語 等	制限なし			制限なし		
留学期間	2学期間を原則とするが、1学期間も可										

5. 交換留学の期間

交換留学の期間は、1学期間または2学期間です。留学期間は本学の学期に合わせて取り扱われ、以下の期間となります。

- 1学期間の留学：春学期または秋学期の1学期間（留学先での学修期間は3ヶ月以上）
 - 2学期間の留学：春学期～秋学期、または秋学期～翌年春学期の2学期間（留学先での学修期間は6ヶ月以上）
- ※協定校の学事日程と本学の学事日程にずれがある場合、希望する時期からの留学ができない場合もあるので注意してください。例えば、アメリカや英国の大学の多くは、春学期が1月に開始となり、本学の秋学期日程と重なるため、春学期から留学を開始することはできません。

※留学先大学の学期終了後（期末試験終了後）は速やかに（遅くとも1ヶ月以内に）帰国してください。

1学期間の留学に関する注意事項

- ①1学期間のみの受け入れを認めている協定校に限り応募が可能です。募集対象校は説明会等でお知らせします。
- ②同じ大学に対し、2学期間と1学期間の両方で応募することはできません。ただし、大学が異なれば、併願は可能です。
- ③各協定校の応募者数が募集定員を上回った場合、選考において2学期間の留学志願者を優先する場合があります。

「しなやかに逞しく世界と交流できる教養人」とは

本学の交換留学プログラムは「しなやかに逞しく世界と交流できる教養人」の育成を目的としています。この交換留学プログラムが目指す「しなやかさ」とは、異質な文化や考え方を寛容に柔軟に受けとめる力であり、他者を助ける用意がある心の広さです。そして「逞しさ」とは、さまざまなバックグラウンドを持つ人々と物怖じせずにつきあうことができ、自らの主張を積極的に発信し、行動に変えることのできる力です。海外での学習を通して、この両方の力をバランスよく併せもつとともに、豊かな語学力、コミュニケーション能力、主体性、異文化理解の精神を備えた人材の育成を目指します。留学先では日本文化を発信し、日本の理解者を世界中に増やす「アンバサダー」として、留学終了後は他の学生を牽引するリーダーとして本学のグローバル化推進の原動力となる等、国内外問わずグローバルな環境下で自ら行動し活躍できる人材へと成長することを期待しています。

事前・事後研修について

交換留学生は、プログラム趣旨や留学目的を再確認し、充実した留学生活を送るための準備としての事前研修、留学後には留学で得た学びと経験を振り返るとともに、さらにそれぞれが次のステップに向け学修計画をブラッシュアップするための事後研修の参加を必須とします（本ガイドP.77およびP.82参照）。

交換留学の応募方法

長期留学の資格・条件および交換留学募集要項を熟読し、自分が条件を満たしているかを確かめた上で、以下「提出書類」の①～④（留学先により⑤⑥も）を揃え、応募締切日までに国際交流センターに提出してください。

応募締切日の目安はP.10の2024年度国際交流センター・年間スケジュールを参照してください。日程の詳細はPorTaⅡ掲示板【留学支援・国際交流】および国際交流センター掲示板で確認してください。

提出書類

所定様式はPorTaⅡダウンロードセンター > 留学支援 > 留学関連提出書類 > 交換留学応募書類からダウンロードしてください。

- ①長期留学志願書（所定様式）
- ②誓約書（所定様式。本人および保証人の署名・捺印が必要）
- ③成績通知表（最新のもの、コピー可、A4サイズにコピーすること。PorTaⅡからのダウンロード可）
- ④必要とされる語学力証明書（有効期限内のものに限る、コピー可）
- ⑤志望理由書（所定様式。ドイツ語圏、英語圏、韓国への応募者のみ）
- ⑥留学先での履修計画（所定様式。英語圏、韓国への応募者のみ）

長期留学志願書には、演習指導教員（またはクラス担任）の署名、面談時の所見が必要です。必ず事前に指導教員に相談をし、承認を得てから応募してください。応募の際は事前に教務課の確認印をもらった上で提出してください。

交換留学応募における注意点

- ①選考は、第一次の書類審査（フランス語圏は筆記試験も実施、P.58～59参照）と第二次の面接選考により行います。面接選考は主に（1）語学能力、（2）コミュニケーション能力、（3）研究計画・専門知識、（4）留学への意欲、の観点から評価します。
- 長期留学志願者には、第1希望、第2希望の協定校名を記載できますが、応募状況や語学力によっては、それ以外の協定校に内定する場合があります。
- ②各協定校の応募者数が募集定員を上回った場合、選考において2学期間の留学志願者を優先する場合があります。
- ③提出書類である語学力の証明書を応募締切日までに提出できるよう、語学試験の証明書が手元に届く日を確認の上、受験日を設定しましょう。
- ④交換協定校によっては、別途GPA要件を定めている場合があるので、各協定校の紹介ページで確認してください。また、GPA要件は応募書類提出時に満たしていないければなりません。
- ⑤応募書類提出後に、留学先・留学期間・留学開始時期の変更はできません。
- ⑥面接結果発表後に留学を辞退した場合は、原則として同じ派遣年度※の募集には応募できません。
- ⑦面接で不合格となった場合は、同じ派遣学期の二次・三次募集には応募できません。ただし、面接において交換留学生としての資質は有しているが派遣定員超過を理由に不合格となった場合は、再応募することができます。

※上記⑥で示す「派遣年度」とは、留学先の学事カレンダーに基づく学年度です。派遣始期が2通りある大学において、「派遣年度」はあくまでも留学先大学の「学年度」を意味します（獨協大学の学年度は4月～翌年3月）。不明な場合は、国際交流センターで確認してください。